

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市すすき野地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

##### (1) 担当地域の現状と課題

###### ①すすき野地区

すすき野地区の高齢化率が 31.7%（平成 30 年 3 月末）と、区全体の 20.8%と比べて高く、すすき野 2 丁目は 41.7%、もみの木台は 36.5%と特に高い状況です。

分譲と賃貸がある集合住宅のすすき野団地と、戸建住宅が広がる地域が混在しており、エレベーターがない団地がほとんどとなっています。

すすき野地区は、分譲と賃貸がある集合住宅のすすき野団地と、戸建住宅が広がる地域が混在しています。連合自治会や、各自治会単位での事業が盛んであり、地域交流のための様々な取り組みが行われています。地域の集いの場として、地域の拠点としての「たまりんば」や、民生委員を中心に行っている高齢者サロンなども多くあります。ちょっとした困りごとに対応できるボランティアグループも活動しています。

###### ②中里地区

鉄町の高齢化率が 27.5%、黒須田は 10.8%となっています。

バス停や自治会館等の集まれる場へ行くのに遠い地域があります。

中里地区は、こどもから高齢者まで、伝統を大切にしたい行事に参加することにより、住民の交流、親睦や住民の輪が発展しています。また、ご近所同士の助け合いが根付いている地区でもあります。

すすき野地域ケアプラザの場所が、すすき野地区であることから、特にアウトリーチの活動が重要と考えます。

##### (2) 担当エリア共通の課題

高齢独居率は、すすき野地域ケアプラザのエリア（以下エリア）で 15.3%、区は 12.0%。高齢者世帯率は、エリアで 14.8%、区は 10.9%と、区全体より高い状況が見られます。また、高齢者人口における認知症の方の人口は、平成 28 年 3 月末は 7.3%でしたが、平成 30 年 3 月末は 7.7%と徐々に増加しており、地域全体での見守りが必要な状況にあります。

しかし、介護保険の認定率は、エリアは 14.6%、区は 16.3%と、区全体より自立した方が多くなっています。高齢者の自立した生活をできる環境づくりをしていくことが重要と考えます。

また、移動、家事支援、つどいの場等、公的サービスではまかなえない支援が求められているので、ニーズを把握し、資源づくりや特に定年退職後の男性の担い手発掘、支え合いの仕組みをつくっていくことが必要となってきます。

包括支援センターへの相談の中で、世帯における多重ケアが課題になっているがケースがよく見られ、潜在化しているケースも相当あることが推察されます。

### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢分野の情報提供だけでなく、多世代に渡る福祉的課題に対して対応できるように、近隣のフォーマル、インフォーマルな社会資源の情報収集に努め、情報ラウンジでの閲覧方法に工夫、改善に努めました。子ども向け、シニア向けなどジャンルごとに情報を整理するなど、必要な情報をすぐに探せるように工夫を行いました。また、毎月発行しているケアプラザの広報誌「おとなりさん」やブログにて、ケアプラザで実施する事業の発信を行いました。

### (2) 各事業の連携

4事業（地域包括支援センター、生活支援体制整備事業、地域活動交流、居宅介護支援）が報連相（報告、連絡、相談）を密にしながら、個別支援と地域支援を行いました。

毎朝の申し送り、5職種連携会議（月1回）、職員全体会議（月1回）の定例会議の開催はもとより、風通しがよく何でも相談、情報交換ができる職場づくりに努めました。

職員一人一人の取組みを明確にし、支援業務を一人で抱え込まない体制作りを進めました。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

(1) 指定管理で求められる必要職員を適正に配置しました。

(2) 職員の専門性を高めるための育成に努めました。

- ① 年間の内部研修計画を策定し、ケアプラザ職員として求められる力の取得と向上に努めました。
- ② 非常勤職員を含め、積極的に外部内部研修を受講し、スキルアップに努めました。
- ③ 全職員対象に育成を目的とした管理者面接を年2回行い、それぞれのステップに応じた育成を行いました。
- ④ 各自が参加した研修は研修報告書を通じて、参加職員以外への展開を行い、施設全体のスキルアップに努めました。
- ⑤ 全職員に担当研修の月担当を振り分け、積極的に会議や研修に参加できる環境を作りました。

### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

要介護高齢者のみならず、介護する家族が抱える課題にも焦点を当てるなど、複合的な課題解決に向けた地域ケア会議を開催し、地域住民、民生委員、その他の地域福祉・医療関係者と課題解決に取り組みました。

### (5) 区行政との協働

- (1) 青葉区地域福祉保健計画、地区別計画の推進に協力しました。
- (2) 地域ケア会議での討議内容を政策形成に向けて区・市との協働に努めました。
- (3) 区行政からの掲示物や配布資料を館内に見やすく設置し、閲覧できるように工夫しました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

地域住民が主体となりケアプラザを利用、もしくは連携し地域住民の福祉の為に継続的に幅広い活動を行いました。

1. ケアプラザを利用するために知っていただくことを目的とした寄席イベントを実施
2. 高齢男性の孤食・引きこもり予防を狙い料理講座実施
3. 子育て支援拠点ラフールと連携し子育て世代へのレスパイト環境とひろばの提供
4. ケアプラザ利用団体と協力し地域の親子向けのクリスマスイベントを実施

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

活動団体がより活発に活動できるように利用しやすい施設づくりを行いました。

1. 地域住民目線で情報資料配置改善
2. 施設利用手続きの煩雑さ解消
3. 清掃についての手引きを作成し気持ちよく使え、環境が維持されやすいよう周知し協力をいただきました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

食に関するボランティア団体の立ち上げを自主事業を通じて行いました。ケアプラザで行うサロンなどにご協力いただき、継続して地域の居場所やつどいの場作りを行いました。

ケアプラザ利用団体が行う年間2回のボランティアに呼びかけケアプラザ環境整備に協力いただきました。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

ボランティア活動を検討している方への情報提供と、ボランティア活動団体との情報交換を行いました。

1. ケアプラザを会場としたボランティア活動を常設し、気軽にボランティア活動に参加、体験できる体制を継続して行いました。
2. 地域のボランティア団体と情報交換を行い、今後の情報と人材の共有におけるパートナーシップを確認しました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

・事業を推進していくにあたり、地域の様々な活動に足を運び、地域で暮らす様々な方々の想いに触れられるよう努めました。また、今後に向けて、地域全体でのネットワークを活かした支援を行っていただけるよう、福祉サービス事業所や病院等、多様な主体との関係づくり、様々な場を活用しての居場所づくりに努めました。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

・地域包括支援センターで受けた総合相談内容から、支援が必要になった方々の状況を知り、地域課題の把握を行ったり、地域の活動につなげられるよう、情報提供を行っていきましました。

・地域で活躍されている方々がどのような想いを持っているか知ることができるよう、地域の集いの場や行事などの様々な活動に参加していきましました。

・地域活動に参加したい方へ情報を届けられるよう、集いの場に参加し、リストとして情報提供できるよう準備を行っていきましました。

#### (3) 連携・協議の場

・既存の地域の会議体にお邪魔し、地域の実情を把握できるように努めました。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

・近隣ケアプラザの生活支援コーディネーターと連携し、歴史ウォーキングやシニアボランティアポイント研修会を共催で実施、青葉さわい病院の地域貢献事業への協力を行っていきましました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

- (1) 地域の中で、ニーズを把握し、地域へアプローチを図りながら地域を支える仕組みづくりの支援を行いました。
- (2) 顔の見える関係づくりとして、地域の民生委員児童委員協議会、保健活動推進員、自治会町内会、老人クラブ（かがやきクラブ）、ボランティア団体の方々と、連携交流を図っていきました。
- (3) 地域のサロンの運営の継続、老人クラブ（かがやきクラブ）の企画の協力や地域ケア会議を通して、地域を支える仕組みづくりの支援を行いました。

#### ②実態把握

- (1) 地域の民生委員、保健活動推進員、自治会町内会関係の方々と連携を図り、地域見守りネットワーク構築の積極的な支援を通じて、要援護高齢者など支援が必要な方への実態把握に努めました。
- (2) 地域の老人クラブ（かがやきクラブ）の活動や地域行事に参加して、活動を通して地域課題の収集に努めました。
- (3) 総合相談票や事業のアンケート結果から地域の課題やニーズの把握に努めました。

#### ③総合相談支援

- (1) 地域の高齢者の方々を中心に相談を受け、ニーズやアセスメントをもとに適切にフォーマル・インフォーマルサービスに繋ぎ、必要に応じて継続的支援・連携を図りました。
- (2) 緊急な相談や対応が必要な場合は、行政や関係機関等と連携を取り、適切かつ迅速な対応を行いました。
- (3) 情報共有のため、相談日誌や日々のミーティングや会議の中で、クライアントの情報を4職種（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員・生活支援）で共有をしました。

### (2) 権利擁護業務

#### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- (1) 成年後見制度の案内ができるように資料等を窓口に準備しました。
- (2) 成年後見制度の普及啓発を地域の老人クラブ等に出向き行いました。
- (3) 認知症や精神疾患のある方や疑いのある方に対し、必要に応じて成年後見制度に繋がられるよう、区役所など関係機関と情報を共有しました。
- (4) 消費者被害や振り込め詐欺等の注意喚起、情報提供を地域に向けて行いました。
- (5) エンディングノート等を含めた、シニア世代の将来を見据えていまから準備できる情報を『転ばぬ先の杖』と題した連続講座にて知識の普及に努めました。

## ②高齢者虐待への対応

- (1) 地域に向け『虐待防止・予防』の呼びかけを行い、相談窓口としての地域包括支援センターの役割を周知しました。
- (2) 虐待や虐待の疑いのある相談を受けた際は、3職種、区、サービス事業所、民生委員等の関係機関と情報を共有し、早期対応ができる体制作りに努め、ケアマネジャーとの同行訪問等を行い継続して支援しました。
- (3) 介護者の抱える負担やストレス、悩みや苦しみを相談できる場としての役割である介護者のつどいを実施しました。
- (4) 区役所や支援者とのカンファレンスやネットワークミーティングを活用して関係者が支援方向を共有し、役割分担や計画的な支援を検討したことで、虐待者及び非虐待者の両方の擁護が図れるよう努めました。

## ③認知症

- (1) シニアクラブや東急ストア・黒須田小学校にて認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の理解や認知症の方への対応についての普及啓発を行いました。
- (2) 医療機関に繋がっていない認知症が疑われる方の相談については、その支援過程で医療機関への積極的なつながりを支援しました。また区役所とも連携を図りながら適切な状況になっていくように支援しました。
- (3) 認知症などによる判断力の低下がある方が被害に遭いやすい消費者被害や犯罪についての注意喚起を、ご高齢者やご家族、地域住民に向けて行い、地域の見守りを広げるとともに、成年後見制度の活用を広報しました。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- (1) 定期的に地域活動（シニアサロン・民児協等）に参加、地域包括支援センターとしての役割や介護保険制度の説明等について講座を開催しました。
- (2) 包括職員内、輪番制で推進会議や地域密着型サービスの運営推進会議へ参加しました。地域包括支援センターとしての意見や地域課題、ニーズの把握に努めました。
- (3) 多職種カンファレンスの中で、生活COと連携して、地域のインフォーマルサービスの紹介等を行い、民生児童委員やサービス事業所、ケアマネジャー等へ情報提供を行いました。

### ②医療・介護の連携推進支援

- (1) 青葉区ケアマネジャー連絡会内で開催した、医療・介護の連携で在宅医療に関わる医師とケアマネジャーとの連携研修を企画運営しました。日頃の困りごとをテーマにディスカッションをして顔の見える関係づくりを構築しました。
- (2) 年6回、地域ケア会議（個別・エリア会議）や年5回、多職種カンファレンスを開催。エリアの薬剤師や訪問看護師を招いて、意見交換や情報交換、研修等を開催しました。
- (3) 医療連携拠点や区と連携して、研修会の企画運営を行いました。今年度は意思決定支援の研修を3回シリーズで行い、各関係機関へACPの必要性を周知して、市民への啓発活動へつながる機会を図りました。

### ③ケアマネジャー支援

- (1) ケアマネジャーからの相談を受けて、ケース会議や地域ケア会議開催、ケアマネジャー支援を行いました。
- (2) 年5回、多職種カンファレンスを開催。ケアマネジャーを始め、民生児童委員、サービス事業所等と一緒に研修会を開催してスキルアップや情報提供、意見交換等を行いました。
- (3) 青葉区ケアマネジャー連絡会、包括主任ケアマネジャー担当として参加、包括主任ケアマネジャー企画（①介護予防従事者研修②医療連携）で研修を開催しました。また、幹事役としても運営・研修のサポートを行いました。
- (4) 新人（新任）ケアマネジャー支援として、青葉区内の包括主任ケアマネジャー合同で研修等のサポートを行いました。

### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- (1) ケアマネジャーや民生児童委員等からの相談より、ケース会議や地域ケア会議を開催しました。地域課題、ニーズを把握、社会資源の必要性の提案や支援のサポートを行いました。
- (2) 多職種カンファレンス内でフォーマル・インフォーマルサービスの皆様への参加依頼を図り、互いに顔の見える関係や情報共有等の連携に努めました。
- (3) 青葉区ケアマネジャー連絡会内で医療連携の研修を企画・運営をしました。在宅医療に関わる医師とケアマネジャーとのディスカッションを行い、意見交換や情報共有等を行いました。
- (4) 必要時に各関係機関と連携を図り、ケアプラザ内でのケース会議を持ち、地域でその人らしい生活を継続するための支援を展開しました。

### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

#### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- (1) 介護予防従事者研修（全体編・地域編）の企画運営を行い、本人の持つストレングスや興味・関心シート等を活用して、ケアマネジメントに必要な視点を持つよう演習を行いました。
- (2) 個人の意欲が引き出せるよう、自発的な動機付けを行える実現可能なケアマネジメントを行いました。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

- (1) 高齢者が介護予防を意識し、健康づくりの取り組みを自主的に行えるよう、健康づくり講座(ロコモ予防・口腔ケア・栄養講座)や健康チェック(血圧・握力・BCチェッカー・体脂肪測定)をケアプラザや地域の行事・老人クラブ(かがやきクラブ)にて実施しました。
- (2) 地域の事業所・民間企業(フィットネスクラブ・ドラッグストア)などの多様なアクターと協力・共催し、健康づくり講座を実施。講座を通して関係機関との連携の強化、幅広い地域住民の講座参加を促しました。
- (3) 健康づくりの連続講座(コグニサイズ)を実施。終了後自主グループ活動へ移行できるよう支援を行い、H31年4月より自主活動グループとして立ち上がりました。

## 5 その他




## 以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### (1) 施設の維持管理について

指定管理者として市民の財産であるケアプラザを公平・公正・安全に管理することに努めました。利用する方々、職員が気持ちよく利用、業務に当たれるように常に使いやすく居心地の良い場作りに努めました。ご意見箱やブログによるご意見もできるだけ活かして運営に当たりました。

#### (2) 効率的な運営への取組について

##### (1) 効率的な運営体制の構築

法人全体で業務改善プロジェクトを進め、「5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）」の取組を各事業所で行っています。それにより問題や課題の見える化、作業効率の向上、快適な職場環境の創造、そして顧客満足度の向上を目指しました。

##### (2) コストダウン・省エネルギーの取組

法人のスケールメリットを生かし、保守管理や物品購入の調達コストを削減するとともに、節電の取組により二酸化炭素排出量の削減に努めました。電力購入をより安価な契約へと見直しを行いました。

#### (3) 苦情受付体制について

(1) 法人の「苦情解決対応マニュアル」「苦情対応手順」に基づき、利用者や家族・地域住民からの苦情を真摯に受け止め、原因を追求し改善できる体制を整えました。

(2) 「苦情受付担当者」を配置し、「苦情解決責任者」である所長および全職員が、受け付けた苦情等を把握できるよう職員会議を通して周知しました。苦情などの対応を全職員ができるよう職員会議を通して周知しました。

(3) 「ご意見箱」をロビーや2階の各部屋に設置し、苦情だけでなくご利用いただく全ての方々から要望や意見を受け付け対応しました。お返事を希望される方には可能な限りお返事を差し上げました。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

(1) 法人の「災害対応マニュアル」に基づき、防火管理者の指示のもと、年2回の避難訓練を実施しました。「火災発生時の手順」をもとに実施訓練計画書を作成して職員の役割を明確にし、訓練後は反省会を行い職員会議にて情報共有しました。

(2) 大規模災害時に特別避難所としての物資の備蓄を進めました。また、地域防災拠点との連携も密に行いました。

(3) 館内に設置しているAED（大人・子ども対応）を緊急時に使用できるように、救命救急研修を行いました。

#### (5) 事故防止への取組について

法人として「事故防止マニュアル」を整備しており、事故発生時に迅速な対応ができるような取り組みました。また、ヒヤリハット活動の取組も合わせて行うことで、事故の発生防止と再発防止に努めました。

- (1) 毎朝の職員全体ミーティングで、事故やヒヤリハットについての情報を共有しました。
- (2) 開館・閉館時の設備点検を適切に行い、不備による事故の発生を防止しました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報とは人の尊厳そのものであるとの認識の下、「横浜市個人情報の保護に関する条例」および法人で定めている「情報公開規定」、「情報保護規定」、「個人情報保護マニュアル」にて適切な個人情報の収集、保護に努めました。

- (1) 個人情報の記載されたファイルは施錠可能なキャビネットに保管しました。
- (2) 個人情報が記載された文書をFAXする際は、必ず2名以上で確認しました。
- (3) パソコンによる個人情報管理は、データをパソコン本体には置かず、USBメモリーの使用を原則的に禁止しました。
- (4) 訪問等での個人情報の持ち出しは最小限とし、ルールに基づいた取り扱いをしました。
- (5) 個人情報保護について年1回の職員研修、採用時の職員研修を行いました。
- (6) 朝のミーティングの時間を利用して定期的に注意喚起を行いました。

#### (7) 情報公開への取組について

法人の定める「情報公開規定」に則り、適切な対応を心がけました。域の皆さまにご利用いただく施設として適切な運営の情報公開に努めました。

- (1) 保有している文書を公開する場合は、個人のプライバシー情報や法令で公に出来ない情報など、開示できないものを明確にしました。
- (2) 情報公開にあたっては、個人の不利益にならないこと、責任者の判断を得ることを徹底しました。
- (3) 広報誌を毎月発行し、地域への回覧や設置等を行いました。
- (4) ホームページやブログでケアプラザの取組について鮮度の良い情報を周知するように努めました。
- (5) 館内の掲示板などで積極的に運営の情報を提供すると共に、わかりやすい表記の方法を工夫しました。

#### (8) 人権啓発への取組について

地域に住む認知症の人、障害を持つ人、外国人、様々な信仰を持つ人など全ての人が平等に扱われ、地域参加ができるように啓発、ケアプラザ内外への働きかけを行いました。

#### (9) 環境等への配慮及び取組について

- (1) ハマ3R夢プランに則ってゴミの減量化・再資源化に取り組みました。
- (2) 室温を冬は19℃、夏は28℃とし、各部屋に寒暖計を設置して管理を行いました。
- (3) 職員に室温に応じた服装で業務を行うように指導を行いました。
- (4) 全館の照明はLEDを採用していますが、不要な照明の消灯を心がけました。
- (5) プリンターやパソコンなどの事務機器は、節電モードに設定し、使用していないときは電源を落とすなど、無駄な電気を使用しないように取り組みました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者 保健師等 1名（常勤兼務）  
 社会福祉士 1名（常勤兼務）  
 主任介護支援専門員 1名（常勤兼務）  
 プランナー 1名（非常勤）

#### 《目標に対する成果等》

- 地域包括支援センターは事業対象者・「要支援1・2」の認定を受けている人を対象に介護予防ケアマネジメントを実施し、自立した生活が継続できるよう支援しました。
- ・介護予防ケアプラン作成には利用者の主体性を尊重しながら、適切な介護予防サービスが受けられるよう、関係機関との連絡調整や支援を行いました。
  - ・居宅介護支援事業への委託依頼後も担当者と共に利用者の支援を行いました。
  - ・サービス事業所選定時は公平・中立な立場で対応しています。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者の負担金はありません。
- 但し、通常サービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要となります。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・利用者の目的を達成できるよう介護保険内のサービスのみならず、横浜市独自のサービスや地域資源を含めたインフォーマルサービスも情報提供・調整していきましました。
- ・地域役員やボランティア団体等の地域住民の方達と連携を取り、問題解決に向けて積極的に関わっていきましました。

#### 《利用者実績》

※ 単位週省略して5月下さい。 6月 7月 8月 【単9月人】

152	150	150	150	153	154
10月	11月	12月	1月	2月	3月
157	153	155	154	157	160

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）  
 介護支援専門員 3名（常勤専従1名、常勤兼務2名）

《目標に対する成果等》

- ・本人やご家族のご希望やご不安を丁寧に伺いながら、これからのことをご一緒に考えました。
- ・人生の最終段階にあっても穏やかに過ごせるように医療機関・介護事業所地域のボランティアとの連携を強化しました。
- ・ご本人を中心に、ご家族や近隣、地域を巻き込んだケアマネジメントに努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常の実施地域（青葉区・緑区・都筑区）以外に訪問する際には、公共交通機関を使用した際の実費分を徴収します。それ以外に負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・介護支援専門員の支援力向上のために定期、不定期に研修の機会を積極的に作りました。
- ・法令順守・公正中立なケアマネジメントに向けた体制を整備しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
46	54	57	55	56	41
10月	11月	12月	1月	2月	3月
44	40	43	43	45	45

平成30年度「横浜市すすき野地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,266,000		17,266,000	16,489,522	776,478	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	116,600	116,600	この列は入力しない
雑入	0		0	33,138	33,138	
印刷代	0		0	5,250	5,250	
自動販売機手数料	0		0	27,888	27,888	この列は入力しない
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	17,266,000	0	17,266,000	16,639,260	626,740	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,934,000		11,934,000	10,806,449	1,127,551	
本俸	9,884,000		9,884,000	8,309,453	1,574,547	
社会保険料	1,350,000		1,350,000	680,610	669,390	
手当計	427,000		427,000	1,678,976	1,251,976	
健康診断費	150,000		150,000	44,925	105,075	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふろんぽ
退職給付引当金繰入額	123,000		123,000	0	123,000	
その他	0		0	92,485	92,485	
事務費	1,381,000		1,381,000	1,697,696	316,696	
旅費	3,000		3,000	11,820	8,820	
消耗品費	400,000		400,000	391,682	8,318	
会議随費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	50,000		50,000	157,296	107,296	
通信費	150,000		150,000	193,791	43,791	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000	519,408	319,408	
図書購入費	50,000		50,000	0	50,000	
施設賠償責任保険	100,000		100,000	75,330	24,670	
職員等研修費	50,000		50,000	14,000	36,000	
振込手数料	30,000		30,000	0	30,000	
リース料	100,000		100,000	55,665	44,335	
手数料	100,000		100,000	149,972	49,972	
地域協力費	50,000		50,000	94,975	44,975	
その他	88,000		88,000	33,757	54,243	
事業費	560,000		560,000	231,512	306,976	
運営協議会経費	42,000		42,000	20,488	21,512	予算-指定額
指定管理料充当 事業	518,000		518,000	211,024	306,976	
管理費	4,144,000		4,144,000	3,005,299	1,356,205	
建築物・建築設備点検	570,000		570,000	0	570,000	予算-指定額
光熱水費	950,000		0	1,167,504	0	
電気料金					0	
ガス料金					0	この列は入力しない
水道料金					0	
清掃費	950,000		950,000	935,000	15,000	
修繕費	474,000		474,000	33,788	440,212	予算-指定額
機械整備費	370,000		370,000	352,500	17,500	
設備保全費	230,000		230,000	226,451	3,549	
空調衛生設備保守	60,000		60,000	56,351	3,649	
消防設備保守	50,000		50,000	45,300	4,700	
電気設備保守	60,000		60,000	59,800	200	
害虫駆除清掃保守	60,000		60,000	65,000	5,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	600,000		600,000	290,056	309,944	
公相公課	0	0	0	0	0	
事業所税					0	この列は入力しない
消費税					0	
印紙税					0	この列は入力しない
その他( )					0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分					0	この列は入力しない
当該施設分					0	この列は入力しない
二一対対応費					0	この列は入力しない
支出合計	18,019,000	0	18,019,000	15,740,956	2,474,036	
差引	753,000	0	753,000	898,304	1,847,296	

自主事業費収入	518,000		518,000	116,600	401,400	
自主事業費支出	518,000		518,000	211,024	306,976	
自主事業収支	0	0	0	94,424	94,424	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市すすき野地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	22,738,000		22,738,000	22,547,443	190,557	横浜市より
指定管理料(介護予防)	5,789,000		5,789,000	162,000	5,627,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	151,000		151,000	5,161,130	5,010,130	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入	0		0	8,500	8,500	
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他(指定管理充当)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0		0	
収入合計	28,678,000	0	28,678,000	27,879,073	798,927	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,685,000	0	24,685,000	19,308,236	5,376,764	
本俸	21,161,650		21,161,650	10,172,350	10,989,300	
社会保険料	2,973,350		2,973,350	2,541,347	432,003	
手当計	0		0	6,256,508	6,256,508	
健康診断費	150,000		150,000	16,656	133,344	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	400,000		400,000	0	400,000	
その他	0		0	321,375	321,375	
事務費	926,000	0	926,000	1,796,547	870,547	
旅費	50,000		50,000	79,879	29,879	
消耗品費	200,000		200,000	330,030	130,030	
会議贈い費	30,000		30,000	500	29,500	
印刷製本費	30,000		30,000	136,887	106,887	
通信費	100,000		100,000	260,649	160,649	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	130,000		130,000	496,404	366,404	
図書購入費	30,000		30,000	38,268	8,268	
施設賠償責任保険	100,000		100,000	75,329	24,671	
職員等研修費	36,000		36,000	52,689	16,689	
振込手数料	30,000		30,000	0	30,000	
リース料	100,000		100,000	15,184	84,816	
手数料	70,000		70,000	158,249	88,249	
地域協力費	20,000		20,000	93,337	73,337	
その他	0		0	59,142	59,142	
事業費	1,244,000	0	1,244,000	5,965,836	4,721,836	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	463,000		463,000	138,706	324,294	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	162,000	11,000	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	0		0	5,161,130	5,161,130	予算:指定額
管理費	1,514,000	0	1,514,000	798,874	715,126	
建築物・建築設備点検	230,000		230,000	215,000	15,000	予算:指定額
光熱水費	400,000	0	400,000	310,349	89,651	
電気料金				0	0	
ガス料金				0	0	
水道料金				0	0	
清掃費	273,000		273,000	265,000	8,000	
修繕費	246,000		246,000	0	246,000	予算:指定額
機械警備費	250,000		250,000	0	250,000	
設備保全費	115,000	0	115,000	0	115,000	
空調衛生設備保守	30,000		30,000	0	30,000	
消防設備保守	25,000		25,000	0	25,000	
電気設備保守	30,000		30,000	0	30,000	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	0	30,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	8,525	8,525	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税				0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税				0	0	
その他( )				0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分				0	0	
当該施設分				0	0	
二一ス対応費				0	0	
支出合計	28,369,000	0	28,369,000	27,869,493	499,507	
差引	309,000	0	309,000	9,580	299,420	

自主事業費収入				8,500		
自主事業費支出				138,706		
自主事業収支	0			130,206		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市すすき野地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	10968	9739	1229	9839	7873	1966			0			0
	その他	0	0	0	233	202	31	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費			0			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0	233	202	31			0			0
<b>収入合計(A)</b>		<b>10968</b>	<b>9739</b>	<b>1229</b>	<b>10072</b>	<b>8075</b>	<b>1997</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
支出	人件費			0	11802	13583	-1781			0			0
	事務費			0	2913	2522	391			0			0
	事業費			0	216	482	-266			0			0
	管理費			0			0			0			0
	その他	8400	6924	1476	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	8400	6924	1476			0			0			0
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
<b>支出合計(B)</b>		<b>8400</b>	<b>6924</b>	<b>1476</b>	<b>14931</b>	<b>16587</b>	<b>-1656</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>2568</b>	<b>2815</b>	<b>-247</b>	<b>-4859</b>	<b>-8512</b>	<b>3653</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。